

### (3) 羽黒地域

羽黒地域は、出羽三山とその門前町、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン※で高い評価を得た羽黒山杉並木や国宝羽黒山五重塔、史跡松ヶ岡開墾場など、歴史的価値の高い観光資源に恵まれた地域です。

2つの日本遺産がある地域として魅力と価値を高め、少子高齢化や人口減少が進行する中でも、地域資源を活用して、活力にあふれる地域づくりを進めていきます。

観光面では、羽黒地域の歴史文化を広く発信し、国内のみならず、海外から訪れる観光客にも羽黒らしい自然や歴史、精神文化に触れる空間を提供できる観光づくりに取り組みます。

農業面では、耕畜連携による土づくりを推進し、農林作物の付加価値を高めます。また、地域特産物の販売方法の検討を進め、魅力ある農業の発展を支える人材育成や確保に取り組みます。

地域づくりでは、住民が安心して暮らすことができるように、住民主体の活動を支援するとともに、防災や地域交通対策などの地域課題の解決に向けて行政と地域が連携して取り組みます。

また、自然にふれあい、歴史・伝統文化の学びを通して郷土愛を育み、次世代を担う人づくりに取り組みます。

#### ※ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン

フランスのタイヤメーカー、ミシュランが発行する旅行ガイドで、多くの国々の旅行者たちが、日本各地の魅力を経験できるような情報を掲載している。

## ア 人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進

### ○施策の方向

手向門前町の修景整備や出羽三山精進料理の魅力発信など、門前町としての魅力向上のための取組を推進します。

また、史跡松ヶ岡開墾場については、蚕室などの歴史や魅力を発信する拠点としての保存や活用の整備を進めるとともに、松ヶ岡地域への支援を継続します。

このほか、インバウンドなどに対応するため、老朽化した既存観光施設の再整備や、周辺の環境整備にも取り組みます。

今後は多言語対応の観光案内や二次交通の検討を行うとともに、月山高原や映画村など羽黒地域全体の観光資源を活用した誘客・連携によって、通過型から周遊・滞在型の観光地への転換を目指します。

### ○主な施策

- ① 手向門前町の歴史的まちなみの整備推進、固有の食文化である出羽三山の精進料理の魅力発信、歴史的文化的価値の高い羽黒山杉並木の保全・継承など、地域資源を有効活用するための活動への支援を行い、交流人口の拡大を図ります。
- ② 鶴岡市歴史的維持風致向上計画などに基づき史跡内建造物の保全などを図るとともに、2014（平成26年）年3月に松ヶ岡地域が策定した「松ヶ岡地域振興ビジョン」の達成状況を検証し、地域が主体的に取り組む事業を支援します。また、インバウンドなどに対応するため観光案内などの多言語対応の充実を図ります。
- ③ 川代の広大な土地を活用した映画ロケ施設が観光誘客資源となっており、演者やスタッフの宿泊や飲食などに伴う経済効果が見込まれることから、映画ロケ誘致や映画を活用した誘客事業に対して支援を行います。
- ④ 庄内平野を一望できる月山高原エリアを有効活用し、豊かな自然と歴史的・文化的資源を結ぶモデルコースの構築・定着により、周遊・滞在型の観光による地域経済の活性化を図ります。

## イ 地域の特徴を生かし価値を高める農業の推進

### ○施策の方向

羽黒地域の特産物や、気候や風土に適した収益性の高い農林作物の生産体制の確立、新品種導入や新たな栽培技術の導入等を支援するとともに、耕畜連携による付加価値の高い農業生産を目指します。

また、生産を支える多様な働き手の確保や、新たな販売方法の検討、地域農業の発展を支える人材育成に取り組みます。

### ○主な施策

- ① 将来的にも地域農業を支える農業者の育成確保は重要であり、また集積により耕作面積が拡大した経営体の補助労働力も併せて考えていく必要があることから、担い手の明確化と産業種別を超えた多様な働き手を確保していきます。
- ② 農家個々の所得向上と農業産出額全体の拡大を目指し、羽黒地域の特産である果樹について優良品種の種苗導入を支援します。また産地交付金を活用しながら収益性の高い園芸作物の作付け拡大を図るとともに、月山ろく畑作団地で機械導入やほ場整備が進められ小麦の生産が増えていることから小麦の販路拡大を支援します。
- ③ 鶴岡市羽黒高品質堆肥製造施設で製造する堆肥の施用を推進し、循環型農業による有機・特別栽培農作物の生産拡大を図ります。肥料高騰の状況において施用に対する支援として環境保全型農業直接支払交付金を活用していくとともに、地域で認定されている二つの日本遺産を活用して農観が連携

した新たな取組を推進していきます。

## ウ 活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進

### ○施策の方向

これまで防災、福祉その他の地域課題に対して、自治振興会と連携し、取組を進めてきました。今後はこうした取組に加え、次世代を担う人づくりに向け、地域内の豊かな自然や地域の歴史文化を伝える学習機会を提供し、郷土愛の醸成を図ります。

また、住民活動の拠点施設である地域活動センターの計画的な整備、修繕などを図り、子育て世代や高齢者のほか、全ての世代が利用しやすい施設づくりに取り組めます。

近年、地域住民が抱える課題が複雑化・多様化する中で、従来の縦割りによる支援体制ではニーズへの対応が困難になってきていることから、地域住民の多様な課題に寄り添う仕組みづくりを進めます。

高齢者などの交通弱者に対しては、買い物や通院時に利用する交通手段の確保と充実に取り組めます。

### ○主な施策

- ① 自治振興会を中心とした地域運営への支援を行うとともに、地域活動や防災の拠点となる地域活動センター施設整備の検討を行います。
- ② 地域の歴史・文化・伝統のほか自然や産業などを学ぶ機会を創出し、ふるさとのよさを伝え、地域文化の伝承と郷土愛の醸成を図ります。
- ③ **行政**、社会福祉協議会羽黒福祉センター、地域包括支援センターはぐろ、羽黒子育て支援センターが連携し、身近な地域で支えあう仕組みづくりを推進します。
- ④ 路線バスの廃止に伴い、交通弱者の交通手段を確保するために、現在運行している市営路線バスのより利用しやすい運行方法を住民とともに検討し、さらなる利便性の向上と利用者の拡大を図ります。

## 施策の成果指標

項目(測り方)	現状値	実績値	成果指標(KPI)
羽黒地域の観光入込客数	700,600人 (2022(令和4)年度)	現状値と同じ	1,029,400人 (2028(令和10)年度)
羽黒地域の外国人宿泊者数	167人 (2022(令和4)年度)	現状値と同じ	2,500人 (2028(令和10)年度)

[設定理由]

既存観光施設の連携と情報発信力の強化によって羽黒地域の観光客数増加につながり、それに伴う地域内での宿泊数の増や消費行動の拡大が期待される。

**[変更理由]**

月山・羽黒山はじめ数多くの観光資源の魅力を国内外へ情報発信し、今後増える見込まれる個人旅行やインバウンドに対し、羽黒観光協会や宿坊組合等と連携し、広域的・滞在型の観光誘客の促進を図ることとしていることから、指標を変更。

**変更前**

項目(測り方)	現状値	実績値	成果指標(KPI)
月山・羽黒山の観光入込客数	737,200人 (2017(平成29)年度)	608,100人 (2022(令和4)年度)	800,000人 (2028(令和10)年度)

項目(測り方)	現状値	実績値	成果指標(KPI)
堆肥散布量(羽黒町堆肥利用組合)	1,757t (2017(平成29)年度)	1,939t (2022(令和4)年度)	1,810t (2028(令和10)年度)

**[設定理由]**

安全安心な農産物を求める消費者の志向に対応するには有機質堆肥の投入による有機栽培や減農薬や減化学肥料栽培の推進が不可欠であり、羽黒地域の特色である畜産業との連携によって環境保全型農業の推進に資する。

項目(測り方)	現状値	実績値	成果指標(KPI)
小麦生産量(月山高原農地委員会)	32t (2022(令和4)年度)	現状値と同じ	92t (2028(令和10)年度)

**[設定理由]**

小麦の作付拡大によって、遊休農地の発生防止や市内における地消地産、輪作による連作障害回避などの面で効果が期待される。

**[変更理由]**

アスパラガスは伝染性がある茎枯病が発生し甚大な被害が発生した影響で復活

が困難な状況のため、新たな作物の普及として月山ろくの畑作団地で作付けが進められている小麦のブランド化の支援に変更。

#### 変更前

項目(測り方)	現状値	実績値	成果指標(KPI)
J Aアスパラ部会(羽黒地域)の販売額	4,000万円 (2017(平成29)年度)	711万円 (2022(令和10)年度)	1億2,000万円 (2028(令和10)年度)

項目(測り方)	現状値	実績値	成果指標(KPI)
地域活動センター利用者数(4地区合計)	41,842人 (2017(平成29)年度)	29,573人 (2022(令和4)年度)	41,900人 (2028(令和10)年度)

#### [設定理由]

地域コミュニティ活動の支援住民が快適で安心して利用できるよう施設の整備や、子育てしやすい環境づくりを努めることにより、幅広い年齢層の利用につながる。